

在日20年近く「風情失われる」神楽坂を嘆く

江戸風情を残す神楽坂の魅力にとりつかれ、日本に居を構えて二十年近く。パリと行き来する生活からは、街づくりや文化に対する両国の違いが手に取るよ



うに分かるようだ。

最近、パリの変身はめざましい。「ルーヴル美術館、

ノートルダム寺院、プチ・パ

レ美術館などが改修で信じ

られないくらい奇麗になっ



仏人エッセイスト
ドラ・トーズンさん

都内の「禁止表示」の増加が気になる。「規制でなく創造性を刺激する政策を」都知事に期待している。

特の風情を感じる」。だが

神楽坂にもマンション開発の波が押し寄せ、似たような新築建造物が立ち並ぶようになつた。

住民が何年もマンション開発に反対してきたが結局、無駄だった。日本の街

の浮世絵にあこがれて東京を訪れるフランス人は、必ず日本橋を見に行く。そして高速道路の陰になつた現状を見て愕然（がくせん）とする。「あの景観だけは、何とかソウル市のように再

行政を手がける役所の立場がまだまだ弱く、文化振興にきちんと予算を充てていない」と分析する。一方、パリは今、日本ブーム。スシや焼き鳥を出前する店が現れ、禅やマンガや「カワイイ」という言葉が定着した。「五年前まで東京に住んでいると話す

歴史生かした街づくりを

た。それに比べ神楽坂の雰

囲気がどんどん失われていくのは残念だ」

生してほしい」日本には面白い芝居がた

東京の街の魅力は対比の面白さにあると説く。入り組んだ狭い路地、パチンコ

変な役者や作家が大勢いる。映画料金は信じられないくらい高い。美術館の営業時間も利用者のことを考

店の隣からのぞく木造家屋などに「何とも言えない独特

典型が日本橋。葛飾北斎

などに「何とも言えない独特

典型が日本橋。葛飾北斎

業時間も利用者のことを考

えていない。底流に「文化

毎週水曜に掲載します。